

平成23年度公共事業再評価の対応方針について

平成23年度公共事業再評価の対象となった9事業について、対応方針を以下のとおりとします。

1 長野県公共事業評価監視委員会の意見

公共事業評価監視委員会(委員長:福田志乃氏)に意見を求めた9事業すべてについて、同委員会から県の再評価案どおり妥当と判断する意見の具申がありました。

経緯等 平成23年 7月25日 県公共事業再評価委員会(再評価案作成)
 平成23年 8月 4日 公共事業評価監視委員会(審議4回、現地調査)
 ~平成24年1月13日
 平成23年 9月22日 同委員会から意見具申(ダム2事業)
 平成24年 1月25日 同委員会から意見具申(7事業)
 平成24年 2月 6日 県公共事業再評価委員会(対応方針決定)

2 県の対応方針

再評価対象事業箇所に対する県の対応方針は、公共事業評価監視委員会の意見を踏まえ、【別紙1】のとおりとします。

委員会からの意見については、【別紙2】のとおり対応します。

平成23年度 長野県公共事業再評価対象箇所一覧表

担当 部局	分野	事業名	路河川名等 箇所名 (市町村名)	採択 年度	現行計画		県の再評価案		評価監視 委員会 意見	県の 対応方針
					総事業費 (百万円)	H23末 進捗率 (%)	方針	縮減・ 削減額 (百万円)		
建設部	道路	道路改築	(国)361号 姥神峠道路(延伸) (木曾町)	H14	12,500	1.7	一時休止	-	県案どおり	一時休止
		社会資本整備 総合交付金	(国)153号 伊那バイパス (伊那市~南箕輪村~箕輪町)	H9	21,500	53.7	(見直して) 継続	-	県案どおり	(見直して) 継続
		社会資本整備 総合交付金	(国)418号 十方峡バイパス (天龍村~飯田市)	H9	6,170	84.0	継続	-	県案どおり	継続
		社会資本整備 総合交付金	(主)飯田富山佐久間線 中尾~南宮 (泰阜村~阿南町)	H14	4,770	73.0	継続	-	県案どおり	継続
	河川	駒沢 生活貯水池	(一)駒沢川 駒沢ダム (辰野町)	H5	6,000	6.0	中止	5,640	県案どおり	中止
		黒沢 生活貯水池	(一)黒沢川 黒沢ダム (安曇野市)	H3	15,000	4.9	中止	14,260	県案どおり	中止
	街路	社会資本整備 総合交付金	羽場大瀬木線 羽場~切石 (飯田市)	H14	5,700	78.0	継続	-	県案どおり	継続
	住宅	県営住宅建替	南松本団地 (松本市)	H11	4,367	93.9	計画変更	-	県案どおり	計画変更
環境部	下水道	地域自主 戦略交付金	諏訪湖流域下水道	S46	105,000	92.1	継続	-	県案どおり	継続
合 計					181,007			19,900		

平成23年度公共事業再評価の対応方針

事業別箇所名	再評価理由	県の対応方針	
		対応方針	方針理由・内容
建設部 道路改築事業			
一般国道361号 姥神峠道路(延伸) (木曾町)	再々評価	一時休止	・地域高規格道路として整備する必要性はあるが、現道は交通機能の面や安全性等が、一定レベルの機能を有しているため、本事業は「一時休止」とする。
建設部 社会資本整備総合交付金			
一般国道153号 伊那バイパス (伊那市～南箕輪村～箕輪町)	再々評価	(見直して) 継続	・広域的な幹線ネットワークの強化、中央自動車道の代替機能、地域の経済発展等に寄与するため、施工の確実性や効果の早期発現を目的とし、大土工部の構造を「見直して継続」とする。
建設部 社会資本整備総合交付金			
一般国道418号 十方峡バイパス (天龍村～飯田市)	再々評価	継続	・天龍村と飯田市南信濃を結ぶ唯一の幹線道路であるとともに、地域唯一の生活道路であるため、安全・安心を確保する観点から、本事業は「継続」とする。
建設部 社会資本整備総合交付金			
主要地方道 飯田富山佐久間線 中尾～南宮 (泰阜村～阿南町)	再評価	継続	・下伊那南部地域における幹線道路であるとともに、地域唯一の生活道路であり、大型車の乗り入れを実現することなど、安全・安心を確保する観点から、本事業は「継続」とする。
建設部 駒沢生活貯水池事業			
一級河川駒沢川 駒沢ダム (辰野町)	中止		・ダムによらない治水・利水対策が確定したため、本事業は「中止」とする。
建設部 黒沢生活貯水池事業			
一級河川黒沢川 黒沢ダム (安曇野市)	中止		・ダムによらない治水・利水対策が確定したため、本事業は「中止」とする。
建設部 社会資本整備総合交付金			
羽場大瀬木線 羽場～切石 (飯田市)	再評価	継続	・飯田市街地と中央自動車道飯田ICを最短で結ぶ幹線道路であり、市街地の渋滞緩和・現道の交通事故の減少にも効果が期待できる事業である。 ・当工区は、用地買収は完了し、工事も橋梁工事を施工中で、平成25年度中に供用する予定であるため、本事業は「継続」とする。
建設部 県営住宅建替事業			
南松本団地 (松本市)	その他	計画変更	・住宅供給公社の地域優良賃貸住宅建設中止により、土地利用計画が変更となるため、本事業は「計画変更」とする。
環境部 地域自主戦略交付金			
諏訪湖流域下水道	再々評価	継続	・生活環境の改善、公共用水域の水質保全、費用効果等の観点において事業効果が大きいため、本事業は「継続」とする。

平成23年度公共事業評価監視委員会からの意見に対する県の考え方①

【事業名】 箇所名	①県案に対する意見	県の考え方
【道路改築事業】 一般国道361号 姥神峠道路(延伸) (木曾町)	・高規格化を図る緊急性等を見極めながら、今後、事業再開の可能性を判断されたい。	・社会・経済情勢や交通量、安全性等、今後の状況を見極めながら、事業再開について判断する。
【社会資本整備総合交付金】 一般国道153号 伊那バイパス (伊那市～南箕輪村 ～箕輪町)	・コスト面からは詳細設計の時点で上乘せされる可能性もあり課題を残すものの、生活交通と通過交通との分離と、交通全体の円滑性を最優先したいとの県の説明を理解した。	・設計段階において、事業コストなどを十分配慮しながら、交通全体の円滑性が確保されるよう、事業を推進する。
【社会資本整備総合交付金】 一般国道418号 十方峡バイパス (天龍村～飯田市)	・十方峡周辺の地域では、当該バイパスが唯一の生活幹線として機能している道路であることが理解できた。	・早期供用に向け、事業を推進する。
【社会資本整備総合交付金】 主要地方道 飯田富山佐久間線 中尾～南宮 (泰阜村～阿南町)	・険しい山岳地帯にある当該地域にとっては、ライフラインの面からも生活交通の最低限の確保の面からも、当該道路が重要な役割を果たしていることが確認できた。	・早期供用に向け、事業を推進する。
【社会資本整備総合交付金】 羽場大瀬木線 羽場～切石 (飯田市)	・かなり大規模な事業ではあるが、残す事業もわずかであり、今は当該道路の効果をもより高く発現させることが最重要である。	・主たる工事である橋梁工事は、上部工工事が施工中で、平成25年度中の供用を予定しており、事業効果の早期発現を図る。
【県営住宅建替事業】 南松本団地 (松本市)	・公共交通を活かしたコンパクトなまちづくり、高齢社会における住居・生活環境の確保など、松本市の長期的なビジョンを明確にしたうえで、都心部の有効な土地の利用を検討していくことが望まれる。	・住宅供給公社が地域優良賃貸住宅建設を中止した土地については、今後、県と市で協議しながら有効活用を検討してまいりたい。
【地域自主戦略交付金】 諏訪湖流域下水道	・事業期間が数十年と長期に及んでいることや、白樺湖地区と蓼科地区の編入について議論となったが、当該事業を推進した方が効果大きい。	・引き続き、白樺湖地区と蓼科地区の編入に向けて計画的な事業執行に努めます。

平成23年度公共事業評価監視委員会からの意見に対する県の考え方②

【事業名】 箇所名	②事業推進上の多角的な意見	県の考え方
【道路改築事業】 一般国道361号 姥神峠道路(延伸) (木曾町)	<p>・住民や関係者に対し、ライフラインとしての安全性と、交通の利便性・快適性について説明責任を果たしていくことが重要である。</p> <p>・今後、現道の安全性や利便性が十分に確保されるよう、地域が納得できるだけの気配りを怠らないことを望む。</p>	<p>・住民や関係者に対し、現道の有する機能についての説明責任を果たしていくとともに、今後とも安全性等に配慮した整備を進めていく。</p>
【社会資本整備総合交付金】 一般国道153号 伊那バイパス (伊那市～南箕輪村～箕輪町)	特になし	
【社会資本整備総合交付金】 一般国道418号 十方峡バイパス (天龍村～飯田市)	特になし	
【社会資本整備総合交付金】 主要地方道飯田富山佐久間線 中尾～南宮 (泰阜村～阿南町)	<p>・早期に事業を進めることが望まれるため、JR飯田線との立体交差部について、交渉と調整に迅速に当たるよう期待する。</p>	<p>・JR飯田線との立体交差部について調整を進め、早期整備に努めていく。</p>
【駒沢生活貯水池事業】 一級河川駒沢川 駒沢ダム (辰野町)	特になし	
【黒沢生活貯水池事業】 一級河川黒沢川 黒沢ダム (安曇野市)	<p>①調節池の設計にあたっては、自然や地下水保全および環境面に十分配慮した施設とすることを望む。</p>	<p>実施設計の段階で、自然や地下水保全および環境面に配慮します。</p>
	<p>②整備計画や詳細設計の段階には、「施設活用や維持管理について、いかに住民に関わってもらうか」という視点から、闊達な議論を重ねてほしい。</p>	<p>実施設計の段階で住民や関係者の意見を聞きながら、検討を進めます。</p>
【社会資本整備総合交付金】 羽場大瀬木線 羽場～切石 (飯田市)	特になし	
【県営住宅建替事業】 南松本団地 (松本市)	特になし	
【地域自主戦略交付金】 諏訪湖流域下水道	<p>・諏訪湖の水質向上、社会学習や一般公開、地域住民の清掃参加・美化活動が盛んなこと、焼却炉の余熱利用、焼却灰の人工骨材化による100%再利用など、施設の高い技術力と創意工夫で様々な取り組みが展開されていることを評価したい。</p>	<p>・引き続き、住民や地域との関わりを保ちながら、下水道資源の有効利用について技術面、経済面等への取り組みを図っていく。</p>